

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
 公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 263-0051

所在地 千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7

評価機関名 特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

認証評価機関番号

機構 11 - 208

電話番号 043-290-8015

代表者氏名 岩上 章子

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	小島恒次	経営	H1101013
	②	岡崎圭子	福祉	H0902004
	③	北島明枝	福祉	S1511022
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	Kid's Patioかさい園			
事業所連絡先	〒	134-0084		
	所在地	東京都江戸川区東葛西6-22-6		
	TEL	03-3804-7722		
事業所代表者氏名	古庄 恵子			
契約日	2022 年 5 月 23 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2022 年 6 月 29 日			
利用者調査結果報告日	2022 年 8 月 12 日			
自己評価の調査票配付日	2022 年 6 月 29 日			
自己評価結果報告日	2022 年 8 月 12 日			
訪問調査日	2022 年 8 月 19 日			
評価合議日	2022 年 10 月 20 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査は保護者全数のアンケート調査とした。評価にあたっては、保育の専門家をチームに加えた。当評価機関と保育所には特別な関係性はなく、第三者の視点で評価を実施した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
 本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)子ども一人ひとりの気持ちに寄り添った保育 2)子どもの最善の利益を尊重するという保育理念 3)一人ひとりの子どもが安心して過ごし様々な経験をする</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>* 保育年数に拘わらず、常に自分の保育力向上のために意欲を持つとする人。 * 自分のクラスだけでなく、周囲の動きに気を配り、保育動線を考える。また、様々な面で気遣いのできる人。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>* 日々の保育の見直しにより、自身が子ども達にとって大きな存在であることを認識し、保育士としての 自覚やプロ意識を持ち、保育にあたって欲しい。</p>

調査対象	利用者家族全世帯に向けて保護者アンケートを実施した。		
調査方法	一昨年度よりWEBによるアンケートを導入し、当園については、WEBアンケートを実施した。		
利用者総数	16		
利用者家族総数(世帯)	12		
共通評価項目による調査対象者数	12		
共通評価項目による調査の有効回答者数	7		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	58.3		

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」「満足」を合わせて85%になっている。また、問1「園での活動は、子どもの心身の発達に役立っていると思うか」問3「園で提供される食事・おやつは、子どもの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思うか」問4「戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や社会とかがわる機会が確保されているか」の3項目については、回答者全員が「はい」と答えており、満足度が高かった。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか 回答者全員が「はい」と答えている。	7	0	0	0
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか 「はい」が86%、「どちらともいえない」が14%であった。	6	1	0	0
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか 食事に関する満足度も高く100%が「はい」と回答している。	7	0	0	0

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	7	0	0	0
「はい」が100%と満足度が高い。「公園や散歩によく行っているようでありがたい。」というコメントが見られた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	6	0	0	1
「はい」が86%、「無回答・非該当」が14%であった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	5	2	0	0
「はい」が71%、「どちらともいえない」が29%であった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	6	1	0	0
「はい」が86%、「どちらともいえない」が14%という結果であった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	6	0	1	0
「はい」が86%、「いいえ」が14%であった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	6	1	0	0
「はい」が86%、「どちらともいえない」が14%という結果であった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	6	1	0	0
「はい」が86%、「どちらともいえない」が14%であった。「職員がとても丁寧に対応してくれる」という意見もある。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	4	1	0	2
「はい」が57%、「どちらともいえない」が14%、「非該当」が29%であった。病気やけがの経験がないという保護者が「非該当」にしたと思われる。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	4	1	0	2
「はい」が57%、「どちらともいえない」が14%、「非該当」が29%であった。上記の設問同様、そのような経験がないという保護者が「非該当」にしたと思われる。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	6	1	0	0
「はい」が86%、「どちらともいえない」が14%という結果であった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	6	0	1	0
「はい」が86%、「いいえ」が14%であった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	6	0	1	0
「はい」が86%、「いいえ」が14%であった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	6	0	0	1
「はい」が86%、「非該当」が14%であった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	4	1	1	1
「はい」が58%、「どちらともいえない」「いいえ」「非該当」が各14%という結果であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	保育理念や保育目標はミーティング等で理解を深めてもらっている 保育理念や保育目標を玄関や事務室に掲示し、職員にはミーティング等で保育を振り返り、理解を深めてもらっている。新人職員にはオリエンテーションで園の目指している保育を伝えている。保護者には理念や目標を載せた園のしおりをもとに、入園時に注意事項や保育を説明している。また、保育実践については園だよりでクラスの様子を伝えたり、個別には登降園時や連絡帳などで伝えている。法人のブログでは、各園がイベント等を載せているので当園も活用が期待される。	
	園長は自らの役割と責任を果たし園運営に取り組んでいる 年度の職務分担表を作成し、園長をはじめ職員の役割を明確にしている。職員会議は月に1回としているが、日々気づいたことは随時ミーティングをおこなって改善点などを話し合い、園の質の向上に努めている。また、法人の小規模3園の園長会には、園長だけでなく担任にも参加してもらい、年齢ごとの発達やかかわりを他園の職員と意見交換し、保育に役立てている。研修にも力を入れており、園内研修のほかキャリアアップ研修を受講してもらい、一人ひとりの力量向上を支援している。着任して1年目であるが、指導力を発揮し園運営に取り組んでいる。	
	園で判断できる案件は、ミーティングで話し合い決定している 園で判断できない案件は本部に上げ指示を仰ぎ、決定経緯等は本部から直接またはメールで聞いている。保護者の意見や行事に関する事など、園で対応できる案件は随時ミーティングをして決定している。ミーティングの内容は議事録で確認することができ、パートの職員には口頭やメールで伝えている。保護者に関する決定事項等はボードや口頭で伝えたり、手紙などでも伝え周知に努めている。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 1/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(●●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>園を取り巻く環境の把握に努め、課題を抽出している</p> <p>保護者の意向は登降園の際に聞いたり、保護者懇談会等で把握に努めている。職員意見等はミーティングや月報、年2回の個別面談などで聞く機会がある。地域の福祉や保育行政については、区の担当者や小規模保育園連絡会等で情報を収集したり、法人本部から情報を得ている。園の決算は本部より年度末に報告が上がることになっている。園の現状や取り巻く環境から、園の課題として地域との関わりや、保護者対応のスキルアップを掲げている。今後の取り組みに期待したい。</p> <p>事業計画は重点目標を掲げ、具体的な取り組み内容を盛り込むことが望まれる</p> <p>単年度の事業計画が策定され、保育運営や給食、研修、新型コロナウイルス対策などを明記している。事業計画の策定にあたっては、日々職員に話をしている大切なことを載せている。なお、本部と連携し中長期の方針を立てることや、事業計画は重点目標への取り組み内容を具体化することが望まれる。</p> <p>事業計画を推進する体制と仕組みをつくり、取り組むことが期待される</p> <p>事業計画は年度末に事業報告書として纏めている。取り組んだ結果はできるだけ具体化し、記載するとよいと思われる。事業計画は期中においても活動を振り返り評価し、成果や課題を明確にしながらか推進することが望まれる。また、事業計画の作成にあたり職員意見を吸い上げることや、確定した計画書の全職員への周知も促される。事業計画を推進する体制と仕組みをつくりを期待したい。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

職員は毎日の安全点検表で順守すべきことを確認している

入職時には就業規則にて、服務規律などを確認してもらっている。虐待防止や個人情報の保護など園職員として順守すべきことは、会議のなかで伝えている。また、職員一人ひとり毎日の安全点検表でコンプライアンスや子どもを尊重した保育を振り返っている。気になる保育が見られた場合は、ミーティングで話し合ったり個別に指導をしている。クラスでは担任とパートナー職員で話し合うことができている。家庭で虐待を受けている疑いのある子どもがいる場合は、児童相談所と連携しながら対応する体制を整えている。

苦情解決の体制があり、受け付けた場合は解決する仕組みを設けている

園のしおりや重要事項説明書に、苦情・相談窓口や苦情解決責任者の名前や連絡先を明記し、入園時に保護者に説明している。園内にも苦情・相談窓口について掲示し、確認できるようにしている。以前は意見箱を設置していたが、事務所からよく見える場所であり他に適切な場所もないため、やむを得ず撤去した。保護者の意向は登降園時に聞いたり、電話やメールでも聞き取っている。苦情等を受け付けた場合は本部と共有し、マニュアルに沿って解決を図る仕組みとなっている。なお、苦情等は外部にも相談できることを定期的に口頭でも伝えることが望ましい。

園の機能や専門性を活かした地域支援が望まれる

園として社会的責任を果たすため、昨年度は実習生を受け入れたり子育て支援員の現地研修を受け入れている。地域との関係づくりでは、避難訓練で小学校を避難先としているため挨拶に行ったり、散歩ではお店の人と交流をしている。今後は、園の機能や職員の専門性を活かした地域の子育て世帯などへの支援が望まれる。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(○○○●●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ4の講評		
<p>さまざまな場面を設定し、避難訓練を実施している</p> <p>園の優先順位の高いリスクは災害対策であり、年間計画のもと避難・防犯訓練を実施している。避難訓練では大地震、台風竜巻などを想定したり、出火場所を変えるなどして実施している。今年度は建物の管理者に許可を取り、津波を想定して園が入居している建物の上階に避難する訓練を実施する予定である。乳幼児突然死症候群の啓発にも取り組み、保護者向けにポスターを掲示したり適切な睡眠チェックを促している。事業継続計画(BCP)は法人本部で作成に着手しており、完成後は職員への周知やシミュレーションなどが期待される。</p> <p>ケガやヒヤリハットは記録に残し、職員間で共有している</p> <p>事故は今のところ報告はないが、ケガ、ヒヤリハットは記録に残し、ミーティングや回覧で職員間の共有を図っている。ケガの記録はその内容と対策を記載し、ヒヤリハットは状況の概要を5W1H方式で記入して読みやすくしている。ケガは対策が纏められているが、ヒヤリハットは「どうなった」で終わっている。重大事故につながる恐れのあるヒヤリハットも考えられる。対策も立てて記録することも検討されたい。</p> <p>個人情報の管理を適切に行い活用できるようにしている</p> <p>会社のプライバシーポリシーが作成され、個人情報の利用目的や個人情報の提供、個人情報の開示・訂正・削除・利用停止について明示している。本部と連携し、文書管理規定などの共有も望まれる。園においては、個人情報の保護について日常的に伝え、保護者の情報に変更があれば追記したり、書式を渡し記入してもらっている。重要書類は1箇所にとどめ、鍵のかかる書棚に保管している。保護者には、入園時に個人情報の取り扱いについて同意書をもっている。今年度は園だよりに子どもの写真を載せることについて、保護者の了解を得て実施している。</p>		

5 職員と組織の能力向上			9/12
サブカテゴリ-1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	9/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(●●)	
評価	標準項目		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇●)	
評価	標準項目		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-5の講評

園内研修を計画的におこなうことが望まれる

外部研修はキャリアアップ研修を中心に該当する職員が受講している。受講後はレポートにまとめてもらい、常時閲覧できるようにしている。園内研修も実施しているが、現時点で今年度はできていない。園内研修は年度初めに職員の希望を取り入れ、外部研修の伝達講習なども含め計画的に実施することが望まれる。日々の保育での気づきはクラス内で情報交換したり、日誌などに記録して共有している。なお、合同保育のときにお互いの保育を見せあい、保育の質を上げていきたいとしている。今後の取り組みに期待したい。

自己評価チェックリスト等を活用し、一人ひとりの育成につなげることが期待される

会社として人事考課は実施していないが、自己評価の仕組みがあり、職員はチェックリストに基づいて保育の自己評価を実施することになっている。また、自己評価表には前期と後期の目標を記載する欄があり、職員には振り返りをしてもらい園長が面談で達成度などを確認する仕組みとなっている。前期の面談はこれからであるが、この仕組みを活かし職員一人ひとりの目標を話し合い、力量向上を支援することが望まれる。また、本部としてキャリアパスの制度を設け、人材育成の仕組みをつくることも検討されたい。

職場環境を整え、職員の意欲の向上に努めている

園長は職員の時間外勤務や有給休暇の消化状況を把握している。職員が安心して働き続けられるよう、一人ひとりに合った声かけや対応に心がけている。また、職員の保育でよいと思った時には、励ましや賞賛の声をかけている。園長は個人ノートで気づきを書きとめ、園の運営に活かしている。職員自己評価からは「職場の雰囲気がよい」「人間関係がよい」「意見が言いやすい」などのコメントが見られる。今年も新人職員3名が配属になっており、離職の防止と定着に向けて、さらに職員の意欲向上に取り組むことを期待したい。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度の課題の一つに「保護者支援」を設定した。外国籍の保護者がいるが十分なコミュニケーションがとれず、相談ごとや困りごとに対応し取り組むために課題として掲げた。児童相談所とも連絡を密にし、児童にも配慮しながら家庭への支援をおこなった。とくに保護者では困難な各種書類のとりまとめや、証明書の取得を代行するなど支援に取り組んだ。継続して園で保育を受けるか退園するかは保護者の判断に委ねた。この取り組みを検証し、次年度も保護者支援に力を入れたいとしている。

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園には要配慮児童が複数おり、関係機関と連携して対応する体制を作っている。学校に通う予定の保護者が子どもの保育が継続できるかなど不安を持っていたケースがあったが、読み書きがあまりできない保護者に代わり、園長が区役所等とやり取りするなど積極的な支援に取り組んだことがうかがえた。最終的に退園を判断した際も児童相談所と連携し、世帯への支援が継続できるよう対応しており、よい保護者支援が確認できた。今後は事業計画の重点課題として、保護者支援を載せることも望まれる。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年の課題として「苦情対応」を設定している。保護者の意向を把握し、迅速に対応することを目標としている。保護者の意向は登降園時に把握に努めており、とくに帰りの引き渡しでは担任がコミュニケーションを取り、連絡帳に書ききれなかったことも伝えている。また、電話で定期的に連絡を取ることで緊密な関係性ができている。子どもの様子を聞いてほしいとの要望には、園長が時間を取り、じっくり話を聞いたことで落ち着いた事例もある。苦情対応の取り組みを振り返り、次年度の課題として事業計画に載せている。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p>	
<p>課題として設定した苦情解決の取り組みは、保護者の意向を把握することから始めており、要望や質問には丁寧に対応している。対話を大切にしており、保護者の意向は真摯に受け止め、対応している。結果として信頼関係の構築にもつながっている。課題とした「苦情対応」は前年度の事業計画に載せて取り組み、活動を踏まえて今年度の事業計画にも載せ、継続して取り組むことを明示している。</p>	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(○○○●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>見学の希望は随時に受け入れ、個別の都合に合わせて案内している</p> <p>園の見学を希望する人には、個別の都合に合わせ、随時に受け入れをしている。自治体への申込みの関係上、特に9月～10月が見学申し込みのピークとなっているが、園長を中心に個別に即した対応に努めている。親子での見学を積極的に呼びかけており、園のさまざまな活動を見てもらうようにしている。園では公園への散歩、夏の水遊びほか、身体を動かすことを積極的におこなっており、見学者にこれらの取り組みを伝えている。併せて各クラスや午睡の様子、食事内容など、園の環境面も見てもらっている。</p> <p>外国籍の利用希望者も多い現状を受け、わかりやすい案内文書作成を検討している</p> <p>外国籍の家族も多く住むエリアであり、利用希望者、見学者も外国籍の親子が一定数いるとのことである。園では外国語で書かれたパンフレット、説明文書などを用意していないため、今後の作成を検討している。問い合わせに対し、現状は口頭でのみの対応となっている。父母のどちらかが日本語を話せないと、見学や契約時の説明を行うのは厳しい現状にある。パンフレットに関しては、文字を少なめにし、イラストや写真だけで伝わるようなものの作成を検討しているとのこと、実現が期待される。</p> <p>利用希望者に向けた情報発信は特にしていない現状である</p> <p>利用希望者向けに配布するリーフレット等、園の広報媒体は特に用意されていない。「ご案内」と書かれた園のしおりや園だよりなどはあるが、これは入園した保護者に対してのみ配布する資料となっている。訪問調査時、園は定員に達しておらず、空きのある状況であったが、特に地域等への情報発信はしていないとのことであり、利用を希望する親子に対し、園の情報を伝えていく工夫などがあると、更に良いと思われる。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園前面談は土曜日に設定し、効率的な実施を心がけている 当園はこぢんまりとした家庭的な保育所であるため、月曜～金曜までの平日は入園前面談のための場所、人手を確保することが難しい。そこで比較的に子どもの少ない、土曜日を中心に、入園前面談のスケジュールを組んでいる。面談は園長、クラス担任などが個別に実施しており、子どもの様子観察なども併せておこなっている。保護者への説明文書は事前に郵送で送り、あらかじめ目を通せるようにしている。入園前面談当日は、説明資料を読んでいることを前提に話を進めるなど、効率的な面談がおこなわれていた。</p> <p>慣れ保育は子ども個別の状況に合わせ、無理のない期間を設定している 新規に入園した子どもの慣れ保育は、概ね2週間をかけるようにしている。0歳児の場合は、これよりさらにかかることもある。慣れ保育中は、環境の変化から来るストレスなどで、子どもの命に係わる状況が生じていないか、園で厳しくチェックしている。特にミルクや水分を取れていない子どもには、慎重に対応している。慣れ保育の期間・保育時間数は、子どもの状況に合わせ、柔軟に設定していることが確認できた。併せて、子どもの安全に支障のない限り、保護者の仕事復帰などへの配慮もしている。</p> <p>卒園を控えた保護者の悩みや不安に寄り添い、相談に乗る体制がある 当園は0歳児～2歳児までの小規模保育所である。3歳から先も保育所を利用する場合は、別のところを探さなければならない。卒園後に向けた次の保育所探しは、原則としてそれぞれの保護者がおこなっている。特に当園と提携している保育所は無く、他園の紹介などもない。一方で、紹介はしないながらも、保護者の相談は随時に受け入れており、次の保育所に安心して進めるよう、サポートしている。依頼があれば、主として口頭で次の園に情報の申し送りもしている。</p>			

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 11/12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

年間指導計画に沿った保育を実施しており、定期的な見直し・評価も実施している
 保育の内容に関する全体的な計画は法人本部が作成している。この全体計画に準じて、当園の年間指導計画が作られていた。また月案、週案等は年間計画に基づいて、クラス担任中心に作成している。月案、週案には、活動の目的や具体的な内容を記載し、事後の振り返り・評価がしっかりと書きこまれていた。子ども一人ひとりの様子も、児童票を始め業務日報、申し送りノート、連絡帳等に記載し、職員間や家庭との共有を図っている。一方で、記録や書類等の作成の遅れは園でも課題としており、今後の改善が促される。

保護者に対し、指導計画の内容をわかりやすく伝えていくことが期待される
 連絡帳や送迎時の会話等で、日々の子どもの様子について情報共有をしている。しかしながら、指導計画に位置付けられた様々な活動の予定やそのねらいなどを、あらかじめ保護者に伝えることまではおこなっていない。今年度から園だよりに各クラスの写真を掲載し、子どもが遊ぶ姿を保護者に伝える取り組みを始めている。これに加え、週案を見やすい場所に掲示するなど、保護者に指導計画も伝える工夫があると更に良いと思われる。

非常勤保育士の気づきや意見の集約・共有は今後の課題と捉えている
 正規職員の保育士に加え、非常勤の保育士も一定人数がクラスに入っている。しかしながら、非常勤保育士は午前のみ等、時間で区切られて勤務しているため、職員会議やクラスでのミーティングなどに参加することが難しい。子どもの様子を共有したいと思っても、話をする時間がなかなか取れない現状である。非常勤保育士の気づきや意見なども集約したいと考えているがまだ実現しておらず、今後の課題となっている。引継ぎノート等を活用し、パートタイムで働く保育士とも情報共有することが期待される。

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇●)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>0歳～2歳児であっても、子どものプライバシーや羞恥心に配慮した対応を心がけている 子どもであっても、羞恥心に配慮した保育に心がけている。トイレは必ずドアを閉めるようにし、保育士が手伝う場合も仕切りで区切って他から見えないようにしている。着替えの際は窓のカーテンを閉め、外部から見えないようにしている。また着替えのコーナーも決められている。着替えの際は一度に脱いで裸になることはせず、上から下へ少しずつ着替えていくような気遣いをしている。一定年齢になるとプライベートゾーンの話をし、見せてはいけない部分の話もしているとのことだった。引き続き配慮していくことが期待される。</p> <p>外国籍の家庭も多い地域であり、多様な価値観や文化に対応する体制がある 地域には外国籍の家庭も多く、当園でも個別に対応する体制がある。まだ検討中であるが、日本語が分からない保護者向けの園パンフレットを作成する予定がある。文化・宗教上の理由などで食べられない食材がある場合は相談に応じ、食事メニューの変更をおこなっている。夏の水遊びの際に肌を見せたくないと言う場合は、上着を着てもらおうなどの対応をしている。個別の要望、こだわり等があれば相談に応じ、代替方法を考える姿勢があることが確認できた。</p> <p>心配な家庭への支援のため、虐待に関する内部勉強会の計画がある 不適切な関わり、ネグレクトほか、気になる様子の子どもの見られた場合は、児童相談所を始めとする外部の専門機関と連携する体制がある。園長が中心となって対策を検討し、外部機関と連携している。職員は児童虐待に関する外部の研修に参加しており、詳細な研修レポートが作成されている。今後は、全職員に向けた虐待に関する内部勉強会も検討しているが、コロナ禍もあって実現できていない。虐待の模擬事例に基づく事例検討なども、計画のみにとどまっており、今後の実現が期待される。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(○○●)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(○○)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>法人本部で作成した共通の保育マニュアルがあり、必要に応じて見直している</p> <p>保育マニュアルは、法人本部が作成したものを使用している。マニュアルは事務所および玄関に置かれており、保護者も自由に閲覧できるようにしている。見直しは、法人が必要に応じておこなっている。散歩や遊び等、日々の活動については園独自の手順書が作られている。一方で、保育マニュアルの周知が積極的に行われているとは言い難い。マニュアル改訂が行われた際も、特に読み合わせなどはせず、職員各自の自主的な閲覧に任せている。会議等で、マニュアルに立ち返る機会があると更に良いと思われる。</p> <p>定期的に職員自己評価チェックリストを記入し、保育の振り返りをおこなっている</p> <p>職員向けの「自己評価チェックリスト」があり、年に2回、記入する仕組みがある。チェックリストの冒頭に園の保育理念・保育目標が掲げられ、自分がこれに沿って保育を実施できているか、振り返りができるようになっている。チェック項目は57あり、保育について網羅的に設定されている。記載はチェックおよび自由記入の二つで、最後にまとめとして全体的な評価や次の目標設定を書き込むようになっている。自己評価リストは園長が確認し、フィードバックをしている。これにより、職員一人ひとりが振り返りの機会を得ている。</p> <p>園の保育全般について、保護者の意見・要望を聴き取る工夫が求められる</p> <p>園の保育全般について、保護者の意見を聴き取る機会はあまりない。玄関先に意見箱を置いたこともあるが、利用が少なく、現在は撤去されている。保護者向けの満足度調査アンケートなども特に実施していない。過去には保護者懇談会を開いていたが、コロナ禍で休止していた。今年度に入り、懇談会の再開を試みたが、保育に関して保護者からの意見は上がらず、園の説明中心で終了したとのことであった。保護者との関係性を一層深め、意見や提案を出しやすくする工夫が求められる。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		サブカテゴリー4 30/34
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(○○○○●)・非該当1	
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input checked="" type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評		
<p>子どもの発達過程や生活環境を捉え、保育計画を作成して丁寧な保育に心がけている</p> <p>送迎時に保護者から子どもの様子を聞いたり、連絡帳などで子どもや家庭の状況を把握している。また、必要に応じて子どもの発達や状況について職員間で話し合い共有している。子どもの生活や遊びの様子は、保育日誌・週案に記録して次週や次月に反映できるようにしている。子どもの発達過程・生活状況は、毎月児童票に記録し把握している。保育内容が子どもの発達段階に沿っているか、園と家庭の両面から子どもの全体的な姿を把握し、職員間で共有しながら丁寧な保育に取り組んでいる。</p> <p>職員は子どもの気持ちに寄り添い、共感することを大切にしている</p> <p>子ども一人ひとりが興味・関心を持って、主体的に遊べるようにしている。子どもが楽しんでやりたいことを大事にし、やりたくない時には無理強いをしないようにしている。散歩では身近な植物の季節の変化に気づき、親しみを持ち、触れ合うようにしている。子どもが発見した物に保育者も共感しながら「こういうのがあるよ」など、子どもが発見した物が展開できるような言葉かけに心掛けている。子どもが自ら遊びを選んで満足するまで遊べるようにしている。保育者は常に応答的な態度で寄り添うことを大切にしている。</p> <p>トラブルなどは双方の気持ちを受け止めながらの対応に心掛けている</p> <p>発達過程におけるトラブルでは、子どもの様子を見守りつつ、危険な時は子どもの場所を移動させている。子ども同士のトラブルは双方の気持ちを受容し、「友だちを押したら痛いよね」「どうすればいいのかな」などと、それぞれの気持ちを代弁しながら納得できるよう対応している。また、やってはいけないことを伝えたり、自分の思いを言葉にすることなどを伝え、発達に応じて対応している。</p>		

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

家庭や園での子どもの様子を送迎時に保護者と確認し、共有している

登園時に家庭での子どもの朝食の様子、健康状態、前日の様子などを受け入れ表と連絡帳で保護者と確認している。また、登園後直ぐに検温し、昨日からの体調の変化がないか確認している。子どもの家庭での様子を把握した上で、保護者と連携をしながら園での生活リズムをつくっている。小規模園の特徴を活かして、降園時は、子どもがどのように過ごしたか、一日の様子を担当以外の職員でも分かりやすく伝えられるように心がけている。

発達に応じた基本的な生活習慣が身につくように援助している

子どもの発達に合わせて、食事・排泄・着脱などの基本的な生活習慣を無理なく身に付けられるようにしている。毎月作成している個別記録(児童票)では、主に食事・排泄などの自立について記録している。トイレトレーニングは保護者と家庭での様子を共有し、相談しながら無理のないように進めている。園では子どもの排泄のタイミングを見ながら声掛けし、トイレに促している。食事・排泄・着脱など子どもが自分でしようとする意欲を大切にしながら、温かく見守りながら進めている。

睡眠や休息などは家庭と連携し、習慣がつくように対応している

家庭での睡眠時間と園での昼寝時間は連絡帳で共有している。0歳児の授乳・睡眠・排泄などは、保護者の意見を尊重しながら、一人ひとりの生活リズムを大事にしている。午睡の時間は、早目の子ども、遅い子どもなど無理強いないように子どもの状況に合わせて睡眠を確保している。早く起きた子どもは絵本や静かなおもちゃで遊べるようにしている。園の生活の中で落ちついた生活リズムが取れるよう、午睡と休息は子どもの状況に合わせて対応している。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが主体性を発揮して遊べるような環境設定に努めている

子どもがどんな遊びに興味・関心を持っているかを汲み取り、自分で好きな玩具を取り出して遊べるように環境を整え、年齢に応じて遊びの時間を保障している。保育室には玩具棚と絵本棚が置かれ、子どもが自由に取れるものと、保育者が出して与えるものが区別して置かれている。また、落ち着いた環境の中で、好きな粘土や絵描きなどの机上遊びや、ままごとなど遊びのコーナーを工夫し、子どもが自発的・意欲的に関われる環境をつくっている。

子どもが身近な人と話したくなる気持ちを大切にしている

子どもの年齢に応じた言葉かけや歌・絵本の読み聞かせなど、日々の生活の中で言葉で表現する楽しさや発達を養っている。子どもが伝えたい気持ちを大切に、保育者は言葉を取らず待つようにしている。子どもが言葉を使いたいという気持ちを受け止め、発した言葉に応答することで言葉の楽しさや気持ちが豊かになるように関わっている。絵本の読み聞かせでは、保育者が子どもの反応を意識しながら言葉をやり取りし、身近な人と気持ちが通じ合う楽しさを感じられるようにしている。

戸外活動を通して、自然に親しみ心と体を育てている

マンション内の保育園であるため園庭はないが、雨天以外のほぼ毎日近隣の公園に散歩に出かけている。公園では、砂場遊び・ボール遊び・かくれんぼ・追いかけごっこなど、遊びの中で体を動かし気持ちを開放させたり発散させている。地域の保育園の年長児と公園で一緒に遊ぶこともあり、譲り合って遊ぶことなどを学ぶ機会となっている。遊びのなかで、落ち葉・どんぐり・松ぼっくりなど自然に親しみ、季節を感じたりして戸外活動を楽しむことを大切にしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもが興味・関心を持ち、行事に楽しく参加できるようにしている</p> <p>子どもが興味・関心を持ち無理なく行事を楽しみ、意欲を引き出せるようにしており、日々の活動の中で絵本を読んだり、「もうすぐだね」など言葉かけに工夫をしている。子どもたちは、ワクワク・ドキドキしながら期待を膨らませ、七夕・水遊び・お月見・スイカ割り・ひな祭りなどの季節行事を楽しんでいる。また、製作物などは「自分でやりたい」、「自分でできた」と、子どもが自分でできる部分はやり遂げられるよう援助している。自分でできた喜びを感じながら当日を迎えられるようにして、みんなで行事を楽しめるように取り組んでいる。</p> <p>保護者の理解や協力を得て行事計画を立て実施している</p> <p>保護者には「年間行事予定表」を年度始めに配布し、毎月の園だよりでも月の行事予定を掲載している。日程の変更や行事の追加の際には園だよりや掲示板で知らせている。子どもが意欲的に行事に取り組めるように導入として作品づくりをおこなっている。作品づくりの製作過程で衣服などの汚れがあることを保護者に知らせ理解を得るようにしている。また、行事には多くの保護者が参加できるようにしているが、今年はコロナ禍のため夏まつりを中止し、子どもと職員で輪投げ・的あてなどの「緑日ごっこ」して、いつもと違う一日を楽しく過ごせるようにした。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもがゆったりと過ごせる環境と玩具を用意している</p> <p>現状では延長保育まで利用する子どもは殆どいない。延長保育を利用する子どもがいた時は、子どもの機嫌、体調などを把握し、安心して継続した保育ができるようにしている。保育時間の長い子どもは迎えの時間まで安心して温かな雰囲気の中で過ごせるようにしている。保育者は抱っこしながら絵本を読んだり、好きな玩具で子どもがゆったりと遊びができるように、一人ひとりに応じて配慮している。18時30分過ぎになってしまう場合は補食が摂れるようにしている。</p> <p>夕方の時間帯では安全に楽しく過ごせるよう配慮している</p> <p>早朝と夕方の時間帯は合同保育で、子どもの安全に配慮しながら援助している。夕方17時から延長保育では、子どもが少なくなっていく中で、ゆっくり抱っこしたり、子どもが安心して落ち着くように寄り添って過ごすようにしている。日々の保育でも子どもは担任以外の保育者と関わりをもって過ごしているので、延長保育担当職員が変わっても楽しく過ごしていると思われる。延長保育担当職員は、引継ぎノートで担任からの伝言や健康状態などを確認し、漏れのないように保護者に伝えている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(○○●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが楽しく、落ち着いて食事ができるよう配慮している

食習慣の自立に向けて、生活リズムに合わせて食べたり、食事のマナーを身につけ、楽しく食べることを大切にしている。「上手にたべているね」、「すごいすごい」など食べることが楽しくなるような言葉かけに心掛け、子どもが楽しく食事が進むように留意している。食事の前には絵本の読み聞かせなどし、落ち着いた安心できる雰囲気の中で、食事が摂れるように努めている。配膳はテーブルに全品揃えて、子どもが好きな物(デザートを含め)から美味しく、楽しく食べることができるようにしている。

メニューや味付けに工夫して食習慣が身につくよう支援している

子どもが楽しく美味しく食事が進むよう、月齢や年齢に合わせた食事の習慣がつくように支援している。乳児は一人ひとりに応じて、保護者と相談しながら授乳・離乳食を進めている。素材の味を生かした様々な食べ物に少しずつ慣らし、味覚が発達するような食習慣が培われるようにしている。幼児食は保育者と調理員が打ち合わせし、子どもに合わせた食材の大きさや切り方など、よく噛んで食べられるように食品の調理形態に工夫して対応している。2週間ごとに同じメニューになっているので、2週目には素材や味付けなどを工夫して提供している。

子どもの状況に合わせた給食を安心して食べられるよう提供している

食物アレルギーは入園時に聞き取り、個別対応が必要な子どもには除去食などを提供する体制を整えている。宗教上の理由で食べられない子どもには、保護者と相談して除去食を提供するなど、できる範囲で個別に対応している。園の給食で対応できない場合はお弁当を持参してもらっている。職員は子どもの体調の変化を把握し、声掛けや見守りを行っている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(○○●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもの健康管理に努め、安心・安全な園生活ができるよう取り組んでいる

年度初めに保健衛生計画を作成している。保健だよりでは、プール熱や手足口病などの季節の感染症や爪の手入れなど、身体の衛生管理について情報を提供している。身体測定は毎月実施し、園医による年2回の内科検診、年1回の歯科検診で子どもの健康管理をおこなっている。ヒヤリハットやケガは報告書に記録し、職員間で原因・経過を分析・共有しながら事故の再発防止に努めている。

日常生活の中で、感染症予防などに努めている

子どものケガや発熱、下痢、嘔吐、発疹などの症状が出た時には保護者へ連絡し、速やかに迎えに来てもらうよう協力をしてもらっている。子どもの状況に応じて、医療機関への受診を保護者に依頼することもある。感染症対策は手洗いの励行、玩具や室内の消毒、ペーパータオルの使用などで予防に努めている。入園案内や園だよりで、感染症に罹患した場合の保護者の対応や完治証明書(登園許可証明書)や自己申告書の提出などについて知らせている。乳幼児突然死症候群を予防するために、午睡チェック表で子どもの状態を記録している。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p>子育てや就労が安心してできるよう、保護者の事情に配慮している</p> <p>入園時に保護者の就労や様々な事情について聞き取り、保護者の就労時間に合わせた保育時間を設定している。急に勤務時間が延びてしまったり、急遽土曜保育が必要となった時などは柔軟に対応し、保護者の様々な事情に合わせて支援している。また、降園時の会話や連絡帳などを通して、保護者とのコミュニケーションを大切にしている。</p> <p>行事や懇談会などで保護者同士の交流を図っている</p> <p>園の行事は年度初めに周知するほか、毎月発行の園だより、掲示板で保護者に知らせている。クラス懇談会では、子どもの様子・子育ての悩みや経験など保護者同士で情報交換し、交流を図っている。2歳児クラスでは、クリスマス会で保育参観を実施し、保護者同士の交流が出来るように働きかけている。今年の秋祭りは保護者参加で予定していたが、コロナ禍のため、子どもと職員で輪投げなどのゲームを楽しんだ。</p> <p>職員は日々の保護者との会話や面談の中で信頼関係を築くよう努めている</p> <p>家庭での子どもの生活の様子は連絡帳・個人面談などを通して把握し、発達や育児などについては保護者と共有し、相談に応じたり助言をするなどしている。保護者アンケートで「子育てについて職員と話したり相談することがありますか」という問いに「限られた時間の中でたくさん話してをしてくれて嬉しい」という意見もあり、保護者に寄り添いながら信頼関係を深めていることがうかがえる。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>戸外遊びに力を入れており、積極的に地域の公園へ出かけている</p> <p>子どもの発育に合わせ、積極的に戸外遊びに出かけている。公園は近隣の3か所に出かけており、遊具のある公園、ない公園、広場的な場所などを使い分けている。道中で近隣住民に出会った際は、あいさつをするなど交流を図っている。また園周辺の散歩コースも2か所あり、子ども達が保育士以外の人々と出会い、関わる機会になっている。保育に関する全体的な計画では、地域との交流や地域資源のさまざまな活用が位置づけられており、今後も幅を広げていくことが期待される。</p> <p>地域資源・住民との連携により、園の行事や活動の拡大を図っている</p> <p>当園はビルの1階部分にある。今年度はビルのオーナーの協力を得て、建物内での避難訓練を計画した。浸水のリスクが高いエリアながら、これまで水害想定での避難訓練は実施していなかったため、水害時にビルの上階まで上がる訓練を検討した。このような避難訓練を通じ、園児が近隣住民と交流し地域資源を活用する機会が増えると更に良いと思われる。また昨年度は、公民館を借りて卒園式をおこなった。園の広さが限られている点をプラスに捉え、今後もさまざまな地域資源を活用していくことが大いに期待される。</p> <p>地域連携を課題と考えており、更なる拡大を意識している</p> <p>地域連携は当園としても、今後の課題として捉えている。コロナ禍もあり、地域住民を招いての行事、地域資源の更なる活用、地域の子育て世帯への支援などが休止のままとなっている。一方で、地域と連携した避難訓練など、すでに進めている計画もあり、今後の更なる地域交流拡大が期待される。これからも園でできる地域交流・地域貢献について、職員間で意見交換し、できることから始めていくことが促される。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている
タイトル①	小規模園の特性を活かし、子ども一人ひとりのニーズに沿った手厚い保育に努めている	
内容①	0歳～2歳児まで、定員19名という小規模園の特性を活かし、子どもや家庭それぞれのニーズに沿った保育の提供に努めている。慣れ保育は、子どもの不安やストレスを第一に捉え、保育時間や期間の設定は柔軟に対応している。子ども個々の日々の様子は、児童票を始め日報などに記録し、職員・保護者間で共有を図っている。地域には外国籍の親子も多いが、文化、宗教などに合わせ、保育方法を検討する体制がある。心配な様子が見られる子どもについては、外部の専門機関等と連携するなど、小規模園ならではの手厚さが見られる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	3-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる
タイトル②	子どもを尊重した保育を定期的に振り返り確認している	
内容②	日々の保育を振り返る仕組みがあり、職員が毎日おこなう「安全点検」はコンプライアンスや子どもを尊重した保育を点検している。また、年2回の自己評価では、チェック表をもとに57項目について保育を自己評価している。また、各クラスでは担任と非常勤職員が子どもを尊重した保育について随時話し合い、取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル③	職員一人ひとりの力量向上を支援している	
内容③	新たに入職した職員が3名おり適材適所に配置し、それぞれの力量向上を支援している。合同保育では他の保育士のかかわりを見てもらったり、園長面談では気づきを伝えたり助言などしている。また、クラスミーティングでは保育の振り返りを行い、話し合いながらよりよい保育を目指している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもに寄り添い、応答的な関りを持って保育に取り組んでいる
	内容	保育者は常に応答的な態度で子どもの気持ちを尊重し、寄り添うことを大切にしている。やりたくない気持ちのときは無理強いをせず、子どもがしていることを認め、その上で興味・関心を持って、自分でしようとする気持ちを温かく見守っている。また、保育者は子どもの気持ちに共感しながら、意欲を引き出したり発展を促す言葉かけをし、子どもの自己肯定感や周囲に対する信頼感を育むことができるよう取り組んでいる。見学時は食事の場面や遊びの場面で、応答的な関わりが見られた。
2	タイトル	子ども一人ひとりの様子について丁寧に記録し、指導計画に反映している
	内容	子ども一人ひとりの様子を、児童票を始め、業務日報、申し送りノートなどに記録し、職員間で共有している。また保護者とは連絡帳や送迎時の会話などで情報交換をしている。小規模園ならではの細やかな見守りの目があり、保育士がクラス横断的に子どもたちの様子を見ていることが確認できた。これらの日々の記録をもとに計画の評価がおこない、次の週案・月案等に反映している。こまめな記録作成と定期的な振り返りを行うことで、より子ども一人ひとりに即した保育の実現に努めている。
3	タイトル	職場環境を整備し、職員の意欲と働きがいの向上に取り組んでいる
	内容	職員が働く意欲を持ち、責任ある行動がとれるよう職場環境を整えている。少人数の保育であり目が行き届くため、職員一人ひとりに合った声かけをしたり、保育を見て励まし・称賛・指導をおこなっている。また、普段から職員と幹部職員はざっくばらんに会話ができる職場風土となっている。職員自己評価でも「職場の雰囲気が良い」「意見が言いやすい」との意見が多く上がっている。また、各クラスに配置した職員は、常勤・非常勤問わず得意の分野で活躍ができており、意欲の向上につながっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	食育計画に基づいた食育への取り組みが望まれる
	内容	2週間ごとに同じメニューを提供するサイクルメニューとなっている。2週目には素材や味付けなどを工夫し、より子どもが楽しく美味しく食事が進むよう、月齢や年齢に合わせた食事の習慣がつくように支援している。今後は、さらに、「食」を生活の一部と捉え、子どもたちがより「食」に関心を持てるような取り組みがされるとよいと思われる。さまざまな体験ができるような計画を取り入れ、「食」への興味や食べ物に感謝する気持ちが育まれるような食育計画の作成が望まれる。
2	タイトル	職員に多様な研修の機会を提供することが望まれる
	内容	外部研修は、キャリアアップ研修を中心に該当する職員が受講している。また、合同保育のときにお互いの保育を見せ合ったりしている。園内研修については不十分な部分があり、体制を整え計画的に取り組むことが期待される。職員の希望を取り入れたり、学んだことの発表、外部研修の伝達講習などもよいと思われる。さまざまな工夫で、職員の学びの支援に取り組むことが期待される。
3	タイトル	子どもの生活の幅を広げるため、更なる地域交流を図ることが期待される
	内容	コロナ禍もあり、地域交流、地域資源の活用は今後の課題となっている。園では出来ることを少しずつおこなっており、日々の散歩等、戸外遊びには積極的に出かけている。また水害想定の高層避難訓練を計画し、ビルの管理者に協力を依頼するなどの取り組みもおこなった。昨年度は地域の公民館を活用し、卒園式を実施した。今後も引き続き、地域連携・地域交流の機会づくりをしていくことが期待される。